

真宗総合研究所

◇研究所委員会

*九月二十七日(火) 於 会議室

研究所報第8号発行の件承認

一九八三年十一月一日発行

〈内容目次〉

総括・「近代における真宗の展開」

——「真宗学事研究」の発足に思う——

代表者 学長 廣瀬 杲

初期真宗の思想史的意義

——本願寺派の場合——

龍谷大学専任講師 平田厚志氏

CISHAN 〆印象

指定研究「海外仏教研究」

チーフ研究員 長崎法潤教授

昭和五十八年度「一般研究」研究内容報告

(その一)

「近代文学における仏教的諸相」

研究員 渡辺貞麿教授

「蓮宗宝鑑の研究」

研究員 安藤智信助教

昭和五十九年度「一般研究」応募要領

*十一月十七日(木) 於 小会議室

昭和五十九年度「一般研究」選考の件、

次の如く決定した

〈共同研究〉

「『教行信証』章節の共通表示化の研究」

代表者 幡谷明教授

「真宗寺院史料の研究」

代表者 大桑斉助教

「近代文学における仏教的諸相」(継続)

代表者 渡辺貞麿教授

「保育者養成機関における宗教教育の現状

と課題」 代表者 松村尚子助教

〈個人研究〉

「ツォンカバ造『了義未了義論善説心髓』

の解説研究」 申請者 片野道雄助教

「ゲーテの『ファウスト』研究—『ヴァル

ブルギスの夜』について」

◇真宗学事研究 研究会 申請者 岸繁一教授

*十月十一日(火) 於 会議室

「学寮創設以来の仏教学の歩み」

研究員 片野道雄助教

*十一月十四日(月) 於 会議室

「学寮における宗学研究」

研究員 江上浄信専任講師

◇海外仏教研究 研究会

*九月九日(金) 於 会議室

「ドイツにおける仏教学の事情」

Univ. of Goettingen 教授

Heinz Bechert 氏

*十一月十一日(金) 於 会議室

「アメリカにおける仏教学の動向—日本に

における仏教学との比較において—」

Univ. of Wisconsin 教授

Mihoru Kiyota 氏

*十一月二十九日(火) 於 会議室

「日本及びアメリカ仏教学私見」

客員研究員 Paul Swanson 氏

真宗学会

◇真宗学会例会

十月十四日(金) 午後四時

於 第一研究室第一分室

清沢満之ノート—貫練会との対立について

博士一回生 熊木 剛

仏性説と親鸞教学 特別研修員 三明智彰

◇真宗学会大会

十月二十六日(水)午後二時半

於 尋源館講堂

信心仏性

助教授 神戸和磨

親鸞における行の問題

筑紫女学園短期大学学長 上田義文

◇真宗学会例会

十一月八日(火)午後四時

於 第一研究室第一分室

真実証について 博士一回生 一葉 真

至誠と真実 特別研修員 安藤文雄

◇修士論文中間発表会

十一月十日(水)午後四時

於 尋源館三二〇三教室

喚遣の仏道 寺本 敬徳

一心帰命の信 磯 弘信

◇卒業論文中間発表会

十一月三十日(水)二時半

於 尋源館三二〇三教室

親鸞における感性 福田 安史

凡夫の道 篠原 恵信

師教の恩致 丸岡 忍

法蔵菩薩 広橋 秀司

転成―大悲に生きる― 野々山昭因

悲願成就

松村加代子

◇第一研究会

十月十七日(月)午後四時より

於 尋源館三二〇三教室

テーマ 仏性の問題―一闡提―

パネラー 神戸助教授 古田助教授

仏学会

◇學術講演会(真宗総合研究所協賛)

十月二十六日

於 尋源館三二〇三教室

講師 Dr. Jan W. de Jong

講題 Recent Buddhist Studies 1973-

83

長尾、梶山両博士を初めとし、他大学からも多くの方が参加され、講演の後活発な議論が交された。なお、引き続き会場を上賀茂菖蒲園に移し、懇談会がもたれた。

◇仏教学会例会

十月三十一日

於 尋源館三二〇三教室

研究発表

「如来と言葉―中論第二十二章より

―」 博士課程三回生 中野 素

「注維摩における肇注と生注についての

一考察」 助教授 古田和弘

社会学会

◇ワークショップ

十月二十二日(土)十月二十三日(日)

於 近江舞子 民宿 コムラ

二回生を中心とした発表、討論の後、ゼミや卒論に関する懇談を行った。また研修後の懇親会を通して相互の親睦を深めることができた。

参加者 池田・高橋両教授、志水助教授、

千葉助手、二・三回生十名。

国史学会

◇昭和五十八年度研究旅行(信濃方面)

九月二十八日(水)午前七時十五分京都駅

八条口集合。列車にて塩尻へ。塩尻駅前より貸切バスを利用。

塩尻駅―尖石遺跡―同考古資料館―諏訪

大社上社前宮―同下社秋宮―下諏訪温泉

(山王閣)着午後六時。宿泊。

九月二十九日(木)午前九時発。

宿所—信濃国分寺址—同資料館—前山寺—中禅寺—常楽寺—安楽寺—別所温泉(玉屋旅館)着午後五時半。宿泊。

九月三十日(金)午前八時半発。

宿所—大法寺—牛伏寺と歴訪のあと、洪水、崖崩れなどで予定列車が運休であったため、貸切バスを延長運転してもらって京都駅まで帰着。午後九時五十分解散。

参加—堅田教授、豊島専任講師、院生学部生四十一名。折りから台風十号の通過に遭遇し、車軸を洗う雨と爾後の水害の影響下にさらされたが、無事全行程を終えることができた。

◇史蹟踏査(岩倉方面)

十一月十二日(土)午後一時三十分

実相院前集合。

実相院、大雲寺、心光院、石坐神社を踏査。午後五時解散。

参加者—豊島専任講師、学生(含院生)三十名。

日本仏教史学会

◇二回生史蹟踏査

七月二日(金)

如意越、三井寺方面

本学正門前集合、東山鹿ヶ谷より尾根越、如意寺趾、如意ヶ嶽城趾、大津市三井寺光浄院、唐院古文書見学。現地解散。

参加—佐々木(令)専任講師、学生三十名。滋野敬淳、O B 芝野康之氏にお世話になった。

◇四回生研究旅行

十月二十五日(火)二十六日(水)金

沢方面

一日行程—石川県立図書館にて古文書見学、深屋温泉石屋泊、宿にて二名発表、懇親会。

二日行程—二俣本泉寺、内灘砂丘、越前海岸。

石川県立図書館では、O B 木越祐馨氏に

お世話になった。

参加—北西弘教授、学生十三名。

◇二回生一夜研修

良方面

九月二十七日(火)二十八日(水)奈良方面
一日行程 京都駅西口集合、奈良般若寺、北山十八間戸、新薬師寺、晩に補講・懇親会、新薬師寺泊。

二日行程 法華寺、海龍王寺、現地解散。

参加—佐々木(令)専任講師、学生三十名。O B 工藤良澄氏にお世話になった。

◇二回生史蹟踏査

十月二十三日(日)午前七時

唐招提寺釈迦念仏会見学

参加—佐々木(令)専任講師、学生三十名。執事長遠藤證圓師にお世話になった。

◇大学院研究旅行

十一月七日(月)八日(火)

丹波篠山方面

一日行程—篠山歴史美術館、春日神社能舞台、来迎寺、尋陽楼泊。

二日行程—能楽資料館、丹波古陶館、尊宝寺。

参加—北西弘教授、草野頭之特別研修員、院生五名。

◇二回生史蹟踏査

十一月二十五日(金)

阿育王山石塔寺

(滋賀県蒲生郡蒲生町石塔)
参加—佐々木(令)専任講師、学生三十名。

◇三回生研究旅行

十一月二十七日(日)二十八日(月)

鳥取方面

一月行程 鳥取城跡、観音院、三朝温泉はしづ屋泊。

二日行程 長谷寺、鳥取砂丘。

参加 大桑斉助教授、学生九名。

東洋史学会

◇卒業論文中間発表会

十一月十五日(火) 午後二時より

於 一〇二教室

参加者 野上俊静先生、佐伯富先生、藤原教授、藤島助教授、大内講師。

発表者十一名。活発な質疑応答がなされ、また、二、三回生の多数の参加をえて、有意義な発表会となった。

東洋仏教史学会

◇卒業論文中間発表会

十一月二十四日(木) 午後二時より

参加者 稲葉正就先生、滋賀教授、安藤助教授、大内講師、院生二名、二、三回生全員。

発表者九名。熱心な発表のもとに盛会であった。

史学

◇藤島達朗・野上俊静両先生喜寿祝賀会

十一月二十九日(火) 午後六時より

於 萬重

参加 藤島・野上両名誉教授、藤原・北西

・堅田・新村・名畑・滋賀教授、藤島・

大桑・安藤助教授、佐々木(念)・豊島・

大内専任講師、草野特別研修員。

藤島・野上両先生には、本年目出度く喜

寿をおむかえになった。両先生を囲んで小宴をもち、歓談のひとときを過すことができた。

中国文学会

◇七月二十八日 午後二時

於 尋源講堂

徂徠学の一源流

学士院会員 神田喜一郎氏
文学博士

本学会協賛「碩学の話を聞く会」主催。酷暑のなか聴講者多数を以て盛会裡に終る。

国文学会
中国文学会

◇大谷大学文芸学会・公開講演会

七月五日 午後一時より

於 尋源講堂

中世教語の一傾向 本学教授 片岡 了氏
総集の性質 京都大学教授 清水 茂氏

短期国文科

◇秋季史蹟見学ならびに補導懇談会

* 一回生 A B クラス。十一月十四日(月)

智積院・三十三間堂他、東山七条辺文学

散歩。後小路助手、学生多数。

* 一回生 C D クラス。十一月二十九日(火)

宇治・黄檗方面へ。喜多川専任講師、沙

加戸助手、学生四十七名。

* 二回生 A B クラス。十一月十四日(火)

京都府立資料館の「洛中洛外屏風の世界

展」、その他詩仙堂・曼珠院へ。渡辺教

授、石橋専任講師、後小路助手、学生五

十七名。